



実川たかし県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

空港周辺への企業誘致を訴え!

2月県議会一般質問に登壇

立地優位性飛躍的に高まる

成田空港南側の山武郡選出で、自民党の実川隆（じつかわ・たかし）県議は、2月定例県議会の一般質問に登壇し、成田空港の機能強化に伴い、地域に経済効果が見込まれる企業誘致の推進を第一に掲げ、森田知事の見解をたどしました。知事は「空港の機能強化や圏央道の整備進展により、企業の立地優位性は飛躍的に高まる」とし、中でも航空会社の整備統合によって、空港関連産業の今後の発展が期待されるとの展望を明らかにしました。実川県議は、ほかにも東千葉メディカルセンター（MC）による地域の医療機関との連携強化などを訴えました。実川県議の主な質疑を特集しました。

実川議員 成田空港の更なる機能強化の合意の際、私の地元である横芝光町は、町の発展を目指し、苦渋の決断を下した。成田空港周辺地域の活性化に向け、どのような企業誘致に取り組んでいくのか。県として、こうした町の思いも、しっかりと受け止めながら、関係市町との連携の下、地域ポテンシャルを活かした積極的な企業誘致に取り組んでいただきたい。

森田知事 空港周辺地域は、空港の更なる機能強化や圏央道の整備進展により、立地優位性が飛躍的に高まる。県では、企業立地動向を把握するため、昨年9月から



自席から再質問と要望を述べる実川県議

東千葉MC医療機関と連携強化を

実川議員 東千葉メディカルセンター（MC）は、昨年5月に地域医療支援病院の承認を受け、地域の医療機関との紹介・逆紹介などを進めていると聞いています。今後、地域の中核的な医療機能を維持するためには、地域の自治体病院との役割分担や連携を深めていくことが重要だと考えます。

そこで伺います。東千葉MCの地域医療支援病院としての実績はどうか。

保健医療担当部長 東千葉MCは、紹介患者に対する医療提供、医療機器の共同利用、地域の医療従事者に対する研修等を通じて、かかりつけ医等を支援する地域医療支援病院の承認を昨年5月に受け、地域の医療機関との連携強化に取り組んでいます。

平成30年度第3四半期までの実績は、紹介率59%、逆紹介率80.3%で、それぞれ前年同期と比較して7.5ポイント、10.5ポイント増加しています。また、CTやMRIなどの医療機器の共同利用は40件、医療従事者向けの研修を12回開催したところです。

さらに、同センターでは、本年2月8日に地域の医師会、自治体病院、保健所、

設立団体等で構成する地域医療支援病院運営委員会を設置し、地域医療支援病院としての機能の充実に努めているところです。

県においては、センターが自立した経営ができるまで引き続き看護師等の人的支援や経営改善の助言を行うよう要望します。

自治体病院をはじめとする地域の医療機関の役割分担や連携を促進していくとの答弁がありました。ぜひとも県がリーダーシップを発揮し、本地域における医療連携を促進するよう要望します。

ヒアリングを進めてきました。

その中で、航空会社の整備統合による施設大型化の動きや、航空機メンテナンス・物流施設の将来的な事業拡大の可能性など、空港関連産業の今後の発展を期待する意見が多く聞かれました。

今後は、こうした空港関連産業の立地動向を注視するとともに、地域特性である豊富な農産物などを活用した食品関連企業の立地の可能性も見据えながら、空

要望

成田空港周辺地域の活性化に向け、積極的な誘致活動を展開してまいります。

成田空港周辺地域の活性化の活性化に向けて、積極的な誘致活動を展開していただくことをお願いします。

合わせて、昨年県が実施した企業の立地動向のヒアリングの結果を踏まえて、成田空港周辺地域の活性化に向けて、積極的な誘致活動を展開していただくことをお願いします。

●山武郡や県政へのご意見、ご要望をお寄せください。

実川たかし 県事務所

〒289-1732 山武郡横芝光町横芝515

TEL.0479-82-2688 FAX.0479-82-2799

立地企業補助金の見直し方針

若者の雇用の場の創出を 正規雇用の拡大へ支援策



本会議場に登壇した實川県議

雇用創出支援制度

実川議員 私は、若者が自分の生まれ育った町で住み続け、結婚、子育てといった安定した家庭を築けるような雇用の場の創出、とりわけ正規雇用の拡大に取り組み立地企業に着目した支援策を図ることが大変重要だと考えます。そこで伺います。立地企業補助金の雇用創出支援制度について、これまでの認定状況はどうか。また、今後どのような見直しを行うのか。

商工労働部長 雇用創出支援は、雇用を生み出す企業への支援を図るため、製造業や研究所など、幅広い業種を対象に、正規、非正規の雇用者数に応じて助成する制度として、平成26年度に創設したものです。これまでに、述べ42件、約2千5百名の計画認定を行ってまいりましたが、立地企業補助金の見直しに合わせて、当制度の検証を進めてきた結果、非正規雇用の認定者数が正規の約1・7倍となりました。県としては、地域における正規雇用の確保が若者の地

元定着や地域経済の活性化を図る観点から大変重要と考えているところであり、今後には正規雇用に着目した支給要件の緩和など、必要な見直しを進めてまいります。

人手不足深刻化の中で

実川議員 補助金による支援も重要だと思いますが、企業における人手不足が深刻な問題となる中で、企業の雇用確保に向けた支援にも取り組んでいく必要があるのではないのでしょうか。立地企業の雇用確保に向けた支援策として、今後、どのようなことに取り組んでいくのか。

商工労働部長 昨今、雇用情勢が改善される中で、本県に進出する企業の多くは、立地先での認知度不足や、学校、就労支援機関との繋がりの弱さなどの理由から、早期操業に不可欠な労働力確保は大変難しい状況となっております。こうした中、学校の就職指導を担当する教諭においては、地域の中で新たに進出した企業の情報が分からないといった声がある一方で、企業側でもハローワーク等の就労支援機関の支援策が十分活用できていないなど、

企業が雇用確保を図る上で、さまざまな課題が見受けられます。こうした課題を踏まえて、今後は学校や就労支援機関等との連携を強化し、学校と企業を引き合わせる「合同企業説明会」の開催や、企業ニーズに即した就労支援メニューの情報提供など、企業の円滑な雇用確保が図られるよう、積極的な支援に取り組んでまいります。

要望 学校や就労支援機関等との連携を強化し、企業の円滑な雇用確保が図れるよう、ぜひとも積極的な支援に取り組んでいただくことを要望します。合わせて、地域経済の活性化を図る上で、若者が地元に着用することは何よりも重要ですので、正規雇用の確保のためにも雇用創出支援制度についても必要な見直しを要望します。

農業機械の操作研修

実川議員 農業作業中の事故は絶えず、県内でも毎年10名程度の方が尊い命を落とすという痛ましい事故が発生しています。農作業に潜む事故を防ぐためには、農業者への安全対策の研修や啓発も重要だと考えます。

農林水産部長 農業大学校では、農業者が安全かつ適正に農業機械の操作や整備ができるよう、学生のみならず農業者も対象に、大ケガにつながる事故が多い草刈り機や耕うん機の方法、トラクターの運転方法等の研修を実施しているところであり、昨年度は421名が受講しました。また、トラクターの大型化に伴い、農耕車限定の大型特殊免許の取得に向けた研修を実施しており、今年度は110名が受講しています。

要望 農業機械メーカーなどと連携し、最新の農業機械の操作を体験できる研修等を行っていただきたい。また、ドローンやGPS対応の田植え機などの操作を体験する授業も行っているところだ。

横芝下総線バイパスの進捗状況

実川議員 最後に道路問題について伺います。県道横芝下総線バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道横芝下総線の横芝光町横芝から坂田までの間は、近隣の小中学校の通学に使用されていますが、幅員が狭く歩道も未整備であることから、1・1キロのバイパス整備を進めています。これまでに国道126号側の0・1キロを供用しており、また、通学の安全を確保するため、全線において片側の歩道を供用しています。地元の皆様のご協力により、今年度、用地の取得が完了したところであり、現在、盛土工事や舗装工事を進めているところです。引き続き、早期の供用を目指し、事業を推進してまいります。

芝山町飯櫃地先の整備

実川議員 県道大里小池線の芝山町飯櫃地先における道路整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道大里小池線は、県道八日市場線と成田松尾線を結ぶ芝山町を縦断する道路であり、飯櫃地先においては、幅員が狭く歩道も整備されていないことから、1050メートル区間で歩道整備を含む道路拡幅を実施しているところです。

要望 この箇所が完成すること、安全性の向上にもつながりますので、早期に完成していただくよう要望します。

また、引き続き残る工区についても、整備に必要な予算を確保していただき、継続して整備を進めていただくよう要望します。